

渚の環境実態調査

(要 約)

仲村 俊毅・桐原 慎二

この調査は、渚（飛沫帯から水深数mまでの場所）の動植物相を調査し、その現況を把握するとともに、今後の渚域の環境保全を図るために基礎資料を得るため実施されたものである。

なお、本調査は国の新たな雇用・就業機会の創出を目的とした「緊急地域雇用創出特別基金事業」により平成14年度から行われているものであり、平成14年度は水産振興課が平成15年度と同一地点で秋期に実施、平成15年度からは当所において実施することとなったものである。

調査方法

調査線1ラインについて、飛沫帯、潮間帯、水深2m以浅、水深2~4mの4つに区分し、動物については1m四方枠2枠分、海藻（草）については10%以上の被度が認められる種ごとに25cm四方枠1枠分を採取し、形状測定及び個体数の計数を行った。砂浜域では砂を深さ20cm、幅20cm、長さ50~100cmにわたって採取し、1mmメッシュの篩で得られた動物等について同様の処理を行った。

結果

平成15年度の調査は下表に示した10地区で行い、調査現場での生息（生育）状況や標本写真等を、県のホームページに平成14年度分と合わせて公表している。

ホームページアドレスは以下のとおり。

<http://www.pref.aomori.jp/suisan/news/toppage030423/index.htm>

表 調査の概要

調査海域	調査地名	調査月日	海岸の状況	動物種数	植物種数
日本海	岩崎村沢辺	5月28日	岩礁、転石	36	25
日本海	深浦町田野沢	5月22日	平坦な岩盤	40	36
日本海	車力村車力漁港	5月31日	消波ブロック、砂礫	22	14
日本海	小泊村小泊岬	6月6日	岩盤、転石	42	43
津軽海峡	今別町高野崎	5月2日	岩礁	41	36
陸奥湾	平内町大島	4月29日	岩礁、転石	42	29
陸奥湾	横浜町大豆田	5月16日	平坦な転石、礫、小石	47	20
陸奥湾	川内町斐川	5月6日	平坦な転石	34	23
津軽海峡	佐井村佐井	6月11日	岩盤、岩礁	40	36
津軽海峡	風間浦村易国間	5月8日	岩礁、転石	45	38